



来る9月1～2日に開催される第37回野洲川冒険大会の参加者を対象とした説明会にて、野洲川放水路の歴史や治水・防災への取り組みなどを紹介しました。

家族で参加の親子らが、熱心にメモをとる様子などもあり、野洲川についての理解を深められていました。

- ✓ 昔の野洲川は？
- ✓ 水害の歴史
- ✓ 放水路の計画と地元の思い
- ✓ 用地提供や家屋の移転
- ✓ 放水路の工事
- ✓ 野洲川での賑わい
- ✓ 水害への備えとこれからの野洲川



- 日 時：平成30年7月13日(金)19:00～20:00 / 14日(土)10:00～11:00
- 場 所：守山市役所東棟3階大会議室
- 主 催：野洲川冒険大会実行委員会
- 参加者：野洲川冒険大会出席者など両日で約75名(琵琶湖河川事務所4名)

来年で通水40周年
伝えよう未来へ。
考えよう未来を。



説明を熱心に聞き入る参加者

「野洲川冒険大会」とは

「野洲川冒険大会～いかだくんだり～」は、野洲川冒険大会実行委員会が主催し、守山市の社会教育事業の一環として毎年開催されています。

野洲川放水路（現野洲川）の通水(昭和54年)を記念し、新しい野洲川に親しんでもらおうと昭和57年8月22日に第1回大会が開催され、今年で37年を迎える大会です。

- 地域社会における大人と子どもの協働の機会、親子のふれあいの機会を創出する。
- ものをつくる喜びや仲間とともにやり遂げる喜びを感じる機会とする。
- 野洲川に親しみ、河川愛護の気持ちや環境について考えるきっかけとする。
- 郷土守山の自然のすばらしさについて学ぶ機会とする。



昨年(第36回)の様子

